

令和 5 年 9 月 7 日

団体名 ゆいまーるの会

代表者 嘉手苺直美

担当者 嘉手苺直美

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和 5年 6月 7日付け、那覇市指令市第 638号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

| | | |
|----------------|---|---|
| 1.事業名 | ゆいまーる事業（子ども支援）「0歳～17歳の子ども対象世帯への生活支援及び交流の場提供」 | |
| 2.実施内容 | <p>(何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など)</p> <p>○安里一区公民館 食糧品、ミルク、生活用品の無料配布 毎月 第二、第四 土曜日 時間 午後 14時30分～15時30 対象者 0歳～17歳の子ども対象世帯 利用者数 7月 (8日) 29世帯 88人 (22日) 31世帯 104人 合計 60世帯 192人 8月 (12日) 31世帯 102人 (26日) 33世帯 110人 合計 64世帯 212人</p> | |
| 3.事業を一言で表現すると | <p>(例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。)</p> <p>0歳～17歳までの子ども世帯への生活支援を ----- することで 子育て世帯の心に安心とゆとりがもてるような支援を する。</p> | |
| 4.これまでの活動の振り返り | <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰一人取り残さない活動ができた ○「助けて」の声に答えられるように各行政のパンフを設置した ○微力ですが貧困の連鎖を防止が可能である ○国籍問わず支援ができた ○保護者や子ども達の笑顔が増えた ○ベビーのミルクやオムツが定期的に支援できた ○生活用品 特に生理用品が毎月支援ができた ○利用者間での交流ができ困っている人への支援（赤ちゃんを預かるなど）をしてくれた ○プロの三線奏者による演奏が毎月聞けた ○利用者が荷物の運ぶのを率先して手伝ってくれた ○参加不可能な家族へは、食糧品やミルクの支援を自宅に届ける事ができた | <p>【改善点・今後につなげる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者が増えた場合、月2回の受取を1回にする事で利用者を増やす事を検討中です |

| | | |
|--|---|--|
| <p>5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)</p> | <p>(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) ○安里一区公民館にて、0歳～17歳の子ども対象世帯への食糧品の提供を継続する事ができるよう努力したい</p> | |
| <p>6.活動写真 (簡単な説明文を記入)</p> |  <p>(支援先の案内)</p> |  <p>(食糧品陳列状)</p> |
| <p>7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)</p> | <p>利用者の人数を月のべ60～65世帯のべ200人に支援できる体制にしたい</p> | |
| <p>8.現時点の目標達成度 (例：60%達成)</p> | <p>100% 達成</p> | |